

## 競技及び審判上の注意

- 1 競技は「第8回鹿児島県小学生バドミントン春季選手権大会要項」及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程により実施、運営します。
- 2 日本バドミントン協会「感染症対策に伴うガイドライン」に沿って対策を行います。
- 3 シャトルは日本バドミントン協会第1種検定合格水鳥球「YONEX NEW OFFICIAL」を使用します。
- 4 選手は、チーム名、名前の入った規定に沿ったゼッケンを必ず背面に着けてください。
- 5 試合は、21点1ゲームマッチ延長30点までとします。ただし、準々決勝から正式ゲーム（シングルス種目1、2年生は、15点3ゲームマッチ延長21点）とし3位決定戦、1部種目では5位決定戦を行います。
- 6 各コートに設置した椅子にコーチ1人が着席できます。
- 7 試合順は流し込み方式を基本としますが、タイムテーブルどおりにいかない場合があるので、コールには十分注意してコールがあったら速やかにコートに入ってください。
- 8 試合会場について
  - (1) 2月18日（土） 男女ダブルス全試合 南栄リース桜島アリーナ（本館）
  - (2) 2月25日（土） 男女シングルス予選 南栄リース桜島アリーナ（本館・補助館）
  - (3) 2月26日（日） 男女シングルス決勝 南栄リース桜島アリーナ（本館）
  - (4) 大会スケジュールとタイムテーブルで試合会場及び開始予定時間を確認して各自、分散入場してください。
  - (5) 初戦に限り3分間の練習を認めます。シングルスは対戦相手とダブルスはペアとの練習を行ってください。
- 9 審判について
  - (1) 主審、線審は参加者とその関係者による審判とします。小学生に代わり大人の方が審判をされても構いません。
  - (2) 2/26、シングルス二日目の主審は、本部より準備しますので線審を直前の試合の両チームにお願いします。
  - (3) 男女、最初の試合は、相互審判とします。
  - (4) 2試合目以降の審判は、敗者のチームより主審と線審を勝者のチームは線審を行ってください。
  - (5) 初心者や低学年が審判を行う場合は、指導者又は保護者が替わって行うこととします。
  - (6) 主審は、次のとおりの処置を行うものとします。
    - ア 試合前・試合後に選手及び線審と利用した椅子などの消毒を行う。
    - イ 試合開始前に審判用紙に主審名を記載し、審判用紙とゼッケンで選手名を照合する。
    - ウ 試合終了次第、勝者のサインをもらい、コートのモップ掛けを各選手へ指示する。
    - エ 審判用紙を本部へ持参し、審判部の確認を受ける。
    - オ 次の試合の審判用紙を受け取り、次の主審に審判用紙を引き継ぐ。
- 10 表彰は、各種目とも4位までとし各種目の終了の都度随時行います。
- 11 その他

- (1) 声をあげてのプレー及び声援は禁止として拍手での声援をお願い致します。
- (2) 自身の試合・役割（審判など）が終了したら観戦や応援をせず、速やかな帰宅をお願いします。
- (3) 体育館施設以外には、立ち入らないでください。
- (4) 指定された場所で飲食を行ってください。
- (5) 今大会の結果は2023年度大会でのシードの参考とします。